**2024年度　事業報告書**

　2024年4月1日～2025年3月31日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　法人名：一般社団法人　ぴおねろの森

**１，事業総括**

**「すべての子どもに居場所を」という理念を掲げ、活動も5年目を迎えた今、安心できる居場所と温かいごはんをベースに、子ども達の回復、成長に尽力してきた。しかし、**不登校増加に比例し、当団体の受け入れ人数も増え、登録者は70人に迫る中、2024年度は移転に向けて、子ども、保護者、地域の方々等、総力をあげて資金集めに尽力。個人、法人等、様々な方々からご寄付、応援を頂いた。しかしその間、個人宅での運営は限界に達し、当所の予定よりも早い、2025年2月、急遽新しい土地、印西市滝地区の約5800平米の森に移転。移転後、大きな環境の変化に子ども達の動揺も心配されたが、ほとんどの子ども達が継続して通所。広大な森や自然環境は子どもの心を開放し、創造力を刺激し、本来もっている力を呼び起こす起爆剤にもなっている他、自分で距離感を調節できるメリットも後押しし、より安心して過ごせる居場所に近づいているように思う。

　しかし一方で、安心安全な建物が無いことにより、天候に左右される不安定な活動や、長時間の屋外での活動に馴染めず、来れなくなってしまった子もいる中で、早急にトレーラーハウスの設置を進める計画に変更する等、すべての子どもが安心して通えるよう最善を尽くしていく。

**また今年度、印西市政も新たに、印西市は不登校支援の充実に向けて本格的に動き出し、学校改革の他、民間フリースクールへの経済支援を決定する等、希望溢れるまちへ前進しつつある。**

1、2024年度事業計画と実施内容・成果

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 定款の  事業名 | 事業内容 | 事業日時 | 実施場所 | スタッフ数 | 対象者と数 |
| ①フリースクール運営事業 | 1、居場所の提供 | 週3日  （月・火・金） | 拠点 | 5～7名 | 子ども  30～35名 |
| 2、昼食の提供  （ぴおランチ） | 週3日  （月・火・金） | 拠点 | 2～3名 | 子ども30～35名、サポーター5～7名 |
| 3、体験活動の実施  ＊定款④に記載 |  |  |  |  |
| ①に対する報告 | １，居場所の提供  ・日時：週に3日　月・火・金→2024年11月～3月まで週に2日に変更  ・場所：個人宅（印西牧の原）→2025年2月、森に移転（印西市滝970－4）  ・従業員人員：理事5名・無償ボランティア９名（随時、保護者サポートを依頼）  ・活動実績：通算年92日開室・登録人数65人・年間利用のべ2644人  ２，昼食の提供  インフラ環境も十分でない移転先でもプロパンガスを利用し、手作りのごはんを提供し続けたことは子どもたちの安心に繋がったと感じる。**「印西市まちづくりファンド」50万円の助成を頂き、**食費購入費に利用、安定的で充実した昼食の提供により、子どもの回復に貢献した他、食に興味を持ち、調理に携わる子どもが増加、生活力の向上とともに、貢献感を感じられる機会を生み出すことができた。 | | | | |
| ②学校に行きづらい子どもたち、及び、その家族に対する支援事業 | 1、個別相談 | 随時 | 拠点 | 4名 | 会員の子どもと親＋会員以外含む |
| 2、電話相談の実施 | 平日  （18時～20時） | 拠点 | 1名 | 主に会員以外の親 |
| 3、親への情報共有の徹底・担当制導入 | 4月～3月 | 拠点 | 6名 | 会員の子どもと親 |
| 4、利用料減額制度の実施 | 4月～3月 | 拠点 | 2名 | 会員 |
|  | １，個別相談  随時、スタッフがリアル、電話、メール等で不安に寄り添い、伴走を行っているが、登録人数の増加に伴い、よりきめ細やかな関わりが必要。（詳細は、事業名③に記載）  ２，電話相談の実施  平日枠を設けているが、ほぼ見学希望の問い合わせ窓口となっており、登録に関係なく、吐き出せる相談の場にはなっていない。次年度仕組みを検討していく。  ３，親への情報共有の徹底、担当制の導入  保護者への情報共有に関しては、グループLINEを作成している他、ぴおスペースという保護者専用のアプリにてスケジュール等の共有を強化した。一方で、担当制に関してはマンパワー不足で導入することが困難であったが、子どもや保護者の情報をそれぞれのスタッフがキントーンシステム（ぴおキッズ）にしっかり共有し、関わりの質の担保、向上に努めた。  ４，利用減額制度の実施  現在、2名の子どもが利用中。 | | | | |
| ③学校に行きづらい子どもたち、及び、その家族同士の交流、情報交換の場の提供事業 | 1、子ども：SNS・オンラインの居場所強化と子どもスタッフによる相互扶助の構築 | 6月～3月 | 拠点 | 6名 | 会員の子ども |
| 2、親：親の会（ぴおねろ珈琲） | 月に一回  （最終火曜日） | 拠点 | 2名 | 会員＋会員以外も含む |
| 3、親：保護者参加型企画の立案 | 9月～3月 | 検討 | 4名 | 会員＋会員以外も含む |
|  | １，子ども：SNS・オンラインの居場所強化  子ども専用のグループLINEを作成し、スタッフからの情報発信、共有はできているが、子ども達のコミュニティ、居場所としては十分機能しているとは言えない。また、居場所に来れない子や登録に至らない子に向けて、オンラインの居場所も含めて強化していきたい。  ２，親の会  ３，保護者参加型企画の立案  ・内容：ぴおねろ珈琲（親の会）  ・日時：月に一回　13：30～15：00  ・場所：ぴおねろの森拠点（印西市）  ・従業員人員：理事1～2名  ・受益対象者：不登校の子をもつ親  ・活動実績：年7回開催・年間利用のべ84人  11/27 久山先生講和　21名  1/28 保護者会移転先説明　29名（＋online6名）  2/25 お汁粉会　6名  ・事業の成果  親支援として、保護者のグループLINEにて活動の画像を共有したり、送迎の引き渡し時やLINEにて、子どもの様子を共有したり、その都度、不安や悩みに寄り添い、支え合える環境づくりに努めてきた他、登録に至らない親御さんや通所が少ないご家庭に向けても、早期の情報提供や定期的な連絡を取るなど、伴走支援に最善を尽くしてきた。親の会に関しては、今年度は移転に向けての保護者会が中心になり、十分な場を設けることはできなかったが、11月には、小児科の医師をお招きし、「学校に行かないあなたは大切な役割を果たしている」というテーマで勉強会を開催、学び合える場づくりに力を入れることができた。次年度は環境も大きく変わる為、親の会開催方法や見学者対応方法等、よりきめ細やかな伴走支援ができるよう仕組みを再構築し、孤立しない取り組みを継続していく。また、保護者サポーターの導入を強化し、その関わりを通して相互扶助の関係性が育まれるような取り組みも始めた。 | | | | |
| ④学校以外の学び場の提供 | 1、体験活動の実施  ・様々な分野の体験活動の実施 | 通年 | 検討 | 4名 | 会員の子ども |
| 2、学習支援の実施 | 毎週（月）  10時～11時  ＋随時 | 事務所・拠点 | 2名 | 会員の子ども |
| 3、移転計画の実現 | 4月～3月 |  | 6名 |  |
| ④に対する報告 | １，体験活動の実施  今年度は、資金集めに尽力する為、地域にいるまちの先生を招いて開催してきた様々な体験活動の機会は限られ、十分な教育機会を確保することが困難であったが、移転という大きな転換期を迎える中で、資金を集める為に子どもたち自ら、駅前でちらしを配ったり、寄付をお願いする看板をつくったり、自分達の居場所を守る為にとった行動は何よりの貴重な学びであったと捉えている。  【2024年度企画】  ・4月：種芋の植え付け、森の開拓、大学生と遊ぼう！、性教育  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・5月：森の開拓  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・6月：森の開拓、ぴお畑作業、お絵描き大会、着物を着てみよう！、Pokémon大会①  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・7月：畑の整備、スイカ割り、スプラ大会、Pokémon大会②、白井市民プール  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・8月：ココハレ祭り出店、印旛沼ダンボールいかだCUP、印祭サマーフェス  ・9月：ラーメンを食べに行こう！、大学生と遊ぼう！  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・10月：マイクラコンテスト、ぴお寿司＆魚をさばいてみよう！、ハロウィンパーティー  　　　＊親の会、誕生日会、学習支援、バスケ部練習  ・11月：体育館で遊ぼう！、スマブラ大会、コクヨ祭り出店  　　　＊親の会：久山先生をお招きしてご講話  　　　テーマ「学校に行かないあなたは重要な役割を果たしている」  　　　誕生日会、バスケ部練習  ・12月：ゲーム交流会、宿泊キャンプ（佐倉草笛の丘）、駅前ちらし配り  　　　＊誕生日会、バスケ部練習  ・1月：保護者会、調理実習、移転準備、大掃除、ドネーションヨガ体験（ゆきちん）  　　　＊誕生日会、バスケ部練習  ・2月：移転（4日）  　　　＊親の会、誕生日会、バスケ部練習  ・3月：スターリア町内会祭り、ぴおッ茶・ドネーション茶道体験（みほさん）  　　　　夜の体育館で遊ぼう！、ヘドロ掻きだし隊、草刈り  　　　＊誕生日会、バスケ部練習  ２，学習支援の実施  4月～11月まで毎週（月）に開催し、担当の先生2名にキントーンシステムに日々の学習の様子を記録に残して頂き、その子の頑張りや成果を継続的にチームで見守る仕組みを構築することができた。11月からは、週2開室になったこともあり一時休止中だが、トレーラーの設置後、再開していく予定。  ３，移転計画の実施  2025年2月に代表個人宅から、印西市滝970－4に移転  ◆土地の概要  ・市街化調整区域、インフラなし  **・印西市の土地：約2000平米、2024年12月～契約、月2万円**  **・個人の土地：約3800平米、無償、（利用許可済み）**  今年度は夏頃から、寄付依頼活動を実施し、2024年9月には、**税制優遇を受けられる基金、公益**財団法人「ちばのWA地域づくり基金」に採択され、**2024年9月～2025年9月まで一年間にわたる寄付活動を実施中だが、十分な資金を集めることができず、**天候に左右される不安定な活動や、長時間の屋外での活動に馴染めず、来れなくなってしまった子もいる中で、早急にトレーラーハウスの設置を進める計画に変更。第三者にトレーラーハウスを購入して頂き、ぴおねろは賃借料をお支払いしていく方向で決定、現在、同年夏に設置予定で進めている。またインフラ整備も並行して進めていく。 | | | | |
| ⑤その他、前各号に掲げる事業に掲げる事業に附帯又は関連する一切の事業 | 1、在籍校との連携  ・活動の様子等の意見交換、出席状況の伝達、安否確認共有システムの推進 | 通年 |  | 2名 | 在籍校 |
| 2、行政関係者との連携  ・懇談会や定例会への参加・開催 | 千葉県懇談会  2か月に一回 |  | 1名 | 行政関係者 |
| 3、新たな居場所立ち上げ支援・DX化伴走支援の準備 | 1月～3月 | 事務所・拠点 | 2名 | 立ち上げ・DX化希望者 |
| 4、活動の様子を発信  ・HP・インスタ更新 | 通年 |  | 3名 |  |
| 5、継続寄付者への活動報告 | 年に3回 | メールで送信 | 1名 | 継続寄付者 |
|  | **１，在籍校との連携**  **・安否確認システムについて（出席認定32名、システム導入15校）**  **現在、学校とフリースクールの新しい連携の形「安否確認システム」の拡充を進めているが、リアルタイムに安否、出席が確認できることは学校の安心に繋がっている他、ぴおねろでの様子をおさめた画像や動画の共有は大変喜ばれている。また、フリースクールへの安否確認の問い合わせも減り、学校の安心と業務削減の両立に貢献。しかし、年度更新によるアカウント情報の管理、変更業務が双方にとって負担になっている為、新年度は改善策を模索していく。また、特に2024年度2月の移転後、学校長自ら現場に足を運んで下さり、子どもたちの様子もご覧頂きながら、学校とフリースクールのよりよい連携方法について、様々な意見交換を実施。**  **２，**行政関係者との連携  **①印西市**  **2024年5月、不登校を取り巻く現状や、ぴおねろの現状と移転の構想などをお伝えする為に、すべての印西市議会議員の皆様にお手紙を送り、総勢13名を前に現状を訴え、多くの市議の方々に共感して頂き、応援のお言葉を頂いた。印西市は2024年7月、市政も変わり、不登校支援の充実に向けて本腰を入れて取り組み始めた。まず、不登校の子どもの居場所を支える民間フリースクールへの経済支援の構築に向けて動き出し、ぴおねろは、現場の声、現状を届けるべく、市教委に経営状況を公開した他、**自信を無くした子ども達に、まず安心と信頼を提供し、回復や成長を継続的に見守る人材の確保が最も重要な要素であることを訴え、緊急的な経済支援を要望した。2024年12月には、印西市の土地を有償でお借りすることができ、移転に向けて弾みとなった。  **②千葉県**  **2024年10月、千葉県教育委員会の方に「安否確認システム」を共有すると、学校とフリースクールの連携方法として大変興味をもって下さり、千葉県内のフリースクールへの導入費用を県が肩代わりする形で予算化に向けた動きまで見せた。また県教委の視察も実現し、活動の様子や、現状と課題、移転の構想等にも丁寧に耳を傾けて下さった。また千葉県懇談会に5月、1月に参加し、情報交換を継続的に行い、信頼関係の構築に尽力している。**（千葉県懇談会とは、県教委、市教委、教育事務所、SSW、千葉県フリースクール等ネットワーク、議員連盟等の定期的な意見交換の場）  ３，新たな居場所立ち上げ支援・DX化伴走支援の準備  現在、滋賀県のフリースクールからDX化の依頼を受け、契約に向けて動いている。  ４，活動の様子を発信  インスタによる発信強化に努め、フォロアーも倍増。多くの方から応援を頂いている。  ５，継続寄付者への活動報告  年度が変わるタイミングで報告を行っているが、十分とは言えず、次年度はより丁寧な報告ができるよう努めていく。 | | | | |

**２，助成・寄付等の状況**

**助成金**

**公益信託「2024年度印西市まちづくりファンド」50万円助成**

**用途：食費**

**寄付**

2024年度寄付金総額：2,809,391円

**・個人寄付：**2,799,391円　総勢　154名

**・法人寄付：10000円　総勢　1社**

**３，メディア掲載、発表**

**「子どもの居場所大会in東京」2024年5月録画動画YouTube公開・2024年3月2日開催**

**https://youtu.be/g\_PwDLrvbKg?feature=shared**